



《目次》

◆お知らせ/イベント情報など

【ご案内】「海外先進地視察成果報告会」のインターネットライブ中継について

【受付中】「対話型全国説明会」5会場の参加お申し込みを受付中

【イベント】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」の出展報告

◆その他

【NUMOのひと】広報部 森

【よくあるご質問】なぜ地層処分なのですか？

◆お知らせ/イベント情報など

【ご案内】「海外先進地視察成果報告会」のインターネットライブ中継について

NUMOでは、地層処分に関する自主的な学習活動を行う団体への支援を行う事業を行っており、より深く知りたい皆さまからの「実際に処分地選定を受け入れた国の方々の想いを知りたい」という声に応えるため、地層処分場の建設等が進む海外先進地（フィンランド、スウェーデン）の視察会を実施しました。

このたび、2018年度に学習活動に参加された団体の皆さまを対象に「海外先進地視察成果報告会」を開催し、当日の様子についてインターネットライブ中継を実施する運びとなりましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

日 時：2019年10月5日(土) 13:10～14:40

内 容：(1)海外先進地視察報告

(2)スウェーデンの地層処分実施主体SKBによる講演

視聴方法：後日、NUMOホームページにてご案内いたします

【受付中】「対話型全国説明会」5会場の参加お申し込みを受付中

「科学的特性マップに関する対話型全国説明会」について、現在5会場の参加お申し込みを受付中です。

初めての方も大歓迎です。皆さまのお申し込みをお待ちしています。

(開催日程)

- ・ 9月28日(土)：大阪(堺市) 堺商工会議所  
※事前の参加申し込みは終了しましたが、当日参加も可能です。
- ・ 9月29日(日)：島根(出雲市) 出雲市民会館  
※事前の参加申し込みは終了しましたが、当日参加も可能です。
- ・ 10月3日(木)：秋田(横手市) 横手市ふれあいセンターかまくら館
- ・ 10月16日(水)：福井(敦賀市) プラザ萬象
- ・ 10月23日(水)：茨城(つくば市) つくば国際会議場
- ・ 10月27日(日)：山梨(富士吉田市) 富士吉田市民会館
- ・ 10月30日(水)：熊本(天草市) 天草市民センター

▽「科学的特性マップに関する対話型全国説明会」の参加申込や詳細についてはこちら  
<https://www.numo.or.jp/taiwa/2018/>

【イベント】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」の出展報告

■出展報告

○9月21日(土)～23日(月・祝)：愛媛県総合科学博物館(愛知県新居浜市)

▽これまでの出展実績についてはこちら

<https://www.numo.or.jp/pr-info/pr/geomirai/archives.html>

◆その他

【NUMOのひと】広報部 森

はじめまして。広報部の森と申します。

私は次世代層を中心とした情報提供を担当しており、小学校から大学院まで、全国各地の学校を訪問して出前授業を行っています。

私は大学で生物化学を学んでいましたが、東日本大震災をきっかけに原子力に興味を持ち、大学院からは原子核工学に専攻を変えました。当時の私はいわゆる研究オタクで、「人前で話すのが苦手」、「できれば学会発表すらしたくない」、「実験して論文だけ書いていたい!」ような人間でした。(人前で緊張してしまうのは今も変わりませんが)

そんな私でしたが、今は自分で希望して、人前で説明し「伝える」、広報の仕事をしています。

迷いながらもNUMOの広報部を志望するに至ったきっかけは、大学院の授業の中で高レベル放射性廃棄物の問題について知ったことでした。重要な問題だと認識しましたが

同時に、自分自身が大学院生になるまでこの問題を知らなかったことや、周りにも知っている人がほぼいなかったことに驚きました。

何とかしてこの問題を多くの人に伝えたいと思ったのですが、そのためには実験して論文だけ書いていけば良い、という訳にはいきません。しかし、研究を続けるほうが安全な放射性廃棄物処分のために直接貢献できるし、加えて私は話すことが苦手…。と、この問題に対して、安全な処分のために自分の専攻を活かして研究の面から関わるべきか、多くの人に知ってもらうために自分が苦手とする「伝える」仕事として広報の面から関わるべきか、ぐるぐると考え続けた結果、やはり自分自身で伝えたいという結論に至り、NUMOの広報部を志望しました。

実際に「伝える」仕事に携わってみて、自分では理解しているつもりでもいざ説明しようとするとうまく伝えられなかったり、思いがけないことを尋ねられて言葉に詰まったりと、落ち込むことが何度もありました。しかし、「初めて知ったが重要な問題だと思った」、「分かりやすい説明だった」、「これからも頑張ってもらいたい」といった声をいただくなど、自分の伝えたいことが「伝わった！」と思う瞬間も増えてきました。

私は、正確な情報を分かりやすく伝えることが地層処分事業を理解していただく第一歩だと考えており、その役割を担う広報の仕事に大きなやりがいを持っています。

一朝一夕にはいきませんが、自分の言葉に確かな自信が持てるよう、引き続き頑張っていきたいと思います。

### 【よくあるご質問】

NUMOホームページに掲載している「よくあるご質問」をピックアップし、ご紹介します。今回は・・・

Q. 「なぜ地層処分なのですか？」

A.

高レベル放射性廃棄物については、人の管理を必要としない最終処分を行うべきであるとの考えから、原子力発電を始める以前より、地層処分や、宇宙にロケット等で打ち上げる宇宙処分、海の底に廃棄する海洋底処分、南極の氷の下に処分する氷床処分といった最終処分、あるいは地上での長期管理など、様々な方法が国際機関や世界各国で検討されてきました。

その結果、多くの国において、地層処分が現実的で有力な方法であるとされ、実現に向けての研究開発が行われてきており、現在ではこれが最も適切な最終処分の方法であることが国際社会の共通認識となっています。

地下深部には「物質を閉じ込める機能」、人間の生活環境等から「隔離する機能」が本来備わっています。このため、地層処分において、火山、活断層等をできる限り避けるなどして適切な場所に埋設すれば、地層の放射性物質を閉じ込める機能（天然バリア）と、

さらに放射性物質の閉じ込めをより確実にするために人工的に施される人工バリアを  
組み合わせた多重バリアシステムにより、人間が管理し続けなくても、埋設された放射性  
物質が人間の生活環境に漏れてくるリスクを長期にわたり十分に小さくすることができます。

▽「よくあるご質問」はこちら

[https://www.numo.or.jp/q\\_and\\_a/](https://www.numo.or.jp/q_and_a/)

☆NUMO メールマガジンのご感想やご意見をお待ちしております

webmaster@numo.or.jp までどうぞ！

\*\*\*\*\*

メルマガ登録はこちらから <https://www.numo.or.jp/mailmagazine/>

メルマガ解除はこちらから [webmaster@numo.or.jp](mailto:webmaster@numo.or.jp)

(件名に「メルマガ解除」と記載してください)

ご感想、ご意見はこちらから [webmaster@numo.or.jp](mailto:webmaster@numo.or.jp)

〔連絡先〕 広報部 TEL 03-6371-4003

NUMO ホームページ <https://www.numo.or.jp/>

\*\*\*\*\*